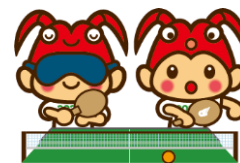


みんなで、SSピンポン！



とこまる SS ピンポン

SS ピンポンは、卓球台の上で音の出るボールを転がして打ちあう競技です。

SSは、生涯（Syougai）とスポーツ（Sports）を頭文字にした日本発祥の競技で、子どもから高齢者まで、障害の有無に関係なく誰でも楽しめるニュースポーツです。

【 2021 年三重とこわか国体デモンストレーション部門で「SSピンポン」の競技を行いました 】

SS ピンポンの特徴

- ① ダブルスは、誰とでもペアを組んでも楽しめます。
- ② 一般卓球台にフレームを付けて楽しめます。（養生テープなどで取り付けます）



キュート君



ラケナちゃん

みんなでSSピンポン！

連絡先

NPO 法人 日本 SS ピンポン協会

三重県 SS ピンポン協会

村井 正治 〒516-0008 伊勢市船江 2-29-62

Tel・Fax：0596-24-5501

ホームページ <https://sttmie.ssquin.com>

「SS ピンポン検索」

メールアドレス：pinpon@ssquin.com



Sport in Life



用具

- ① ボールは、中に金属の粒が入った音の出るサウンドボールを、ラケットはラバーを貼らない木製のラケットを使用します。
- ② 卓球台は STT の専用台、または一般卓球台に専用の支柱及フレームを付けて使用します。（フレームとは、高さ 1.5 センチ、幅 1 センチの物をエンドには全て、サイドはエンドから 60 センチの所まで取り付ける） 専用の支柱及フレームなどのお問合せは協会へ。

※STT：サウンドテーブルテニス

< 1. ルール規定 >

- ① くちジャンケンでサーブ、レシーブ、エンド（コート）のいずれかを選択する。
- ② 審判が「プレー」と言った後、10秒以内にサーバーが「いきます」、5秒以内にレシーバーが「はい」と言ってから5秒以内にサーブを打つ。
- ③ サーバーの右側のコートから相手の右側のコートに入るように斜めに打つ。
- ④ サーブは2本ずつで交代。
- ⑤ ラリー中はコート全面を使用。
- ⑥ ボールがコート上で停止、またはエンドフレームに当たるか、エンドフレームに当たらずコート外に出た時点でどちらかのポイントになる。

< 2. サーブ時の注意点 >

- ① サーブ時のラケットとボールの距離は10センチ以上離す。
- ② ボールから手を離し、「いきます」と言う。「いきます」と言ってからボールは動いてもよいが、ボールを置きなおすことはできない。但し、「いきます」を言う前で、時間前なら何度触っても、置きなおしてもよい。

< 3. ラケットの角度 >

- ① 打球時の角度が60度未満になると「ホールディング」で相手のポイント。

< 4. 打球音について >

- ① ラケットを持つ手やグリップで打っても、打球した音がわかればよい。
- ② 打球音がない、またはラケットでテーブルをたたいたり、こすったりして打球音が聞こえない場合「ホールディング」で相手のポイント。

< 5. ポイント判定について >

- ① サーブしたボールがネットに触れると「フォルト」で相手のポイント。
- ② サーブしたボールが、レシーブエリアのセンターラインを外した場合「コースアウト」で、相手のポイント。但し、コースアウトのボールをリターンした場合、ゲームは続行します。
- ③ サーブしたボールがコート外に出た場合「フォルト」で相手のポイント。
- ④ サーブもラリー中も、ボールがエンドフレームに当たった後、もう一度コート上のどこかに当たれば「セーフ」で打った選手のポイント。
- ⑤ ボールがエンドフレームに当たった後、コート外に出た場合「アウト」で相手のポイント。
- ⑥ ボールがエンドフレームに当たった後、テーブル上で選手の体やラケットに触れた場合「オブストラクション」で打った選手のポイント。
- ⑦ ラケットに当たった後、コート外に出るか、または相手の守備エリアまで到達しない場合「リターンミス」で相手のポイント。

< 6. 試合 >

- ① 通常11点5ゲームスマッチで、3ゲーム先取した選手が勝ちとなる。